令和3年4月30日

_{岸城中学校} 生徒指導だより

第 | 号 生徒指導部

新年度が始まり、3週間がたちました。そろそろ新しいクラスや学年には慣れましたか?元気なあいさつや笑顔をみると先生もうれしくなります。

先生から君たちにお願いがあります。





人は誰でも失敗をします。だからこそ支えあいが必要なのです。そんなときに素直に「ありがとう」を言えていますか?そして、失敗をしたときに素直に「ごめんなさい」が言えていますか? 君たちはまだまだ子どもです。だからこそ失敗は多いはずです。失敗をしない人に成長はないので、失敗を恐れずに多くの挑戦をしてください。でも忘れてはいけないのは「ありがとう」と「ごめんなさい」です。友達にも、先生にも、お家の方にも、地域の方にも様々な人に君たちの素直な「感謝」と「反省」を見せてくださいね。

今、こんな時だからこそ…

先生がくじけそうになるときに、いつも思い出す言葉があります。それは、作家の井上靖さんの言葉です。

努力する人は希望を語り、

怠ける人は不満を語る。

昨年度の生徒指導だよりでも少し紹介しましたが、再び君たちに伝えたいと思い、今回も掲載させてもらいました。

現在、大阪府に3度目の緊急事態宣言が出されています。君たちにも多くの協力をお願いしています。例えば、今ではあたりまえになったマスクの着用、本来ならば暑くなってきても頑張る部活動、昼休みのボールの貸し出しの制限、暑くても寒くてもしないといけない教室の換気など。 そんな中ですが、

思りの声、自分の声を聞いてみてください。

人の文句や不満ばかり話をしている人はいないでしょうか。先生もそれを意識して人の話を聞くと、人の文句や批判ばかり言う人がいます。ですが、逆に「〇〇でもこうしていこう」と前向きな意見を言う人もいます。君たちの声は前向きな「希望」を語っていますか?それとも批判などの「不満」を語っていますか?先生も何かうまくいかないとき、自分を振り返ってみると「不満」ばかりを話し、何の努力もしていないことがあると反省するときもあります。

お互いに、こんなときだからこそ多くの努力をし、「不満」ではなく、多く「希望」を語れるあたたかい人になっていきましょうね。

素直に「感謝」と「反省」ができる学校へ!

~「ありがとう」と「ごめんなさい」を大切にしましょう~